

令和2年度 事業報告

1. 産学官連携交流事業の実施

大学・公設試験研究機関、関連団体及び地元中小企業との交流を通じて、新事業開拓、新商品開発、新分野進出を促進。

(1) 「地域を彩る食物語」の開催

<販売会>

開催日：令和3年2月24日（水）～26日（金）

場 所：まちきた大通ビル パラボ 地下1階

<オンラインセミナー>

開催方法：YouTube 一般公開によるオンデマンド形式

配信期間：令和3年2月22日（月）～3月5日（金）

内 容：「地域を彩る食物語を振り返る」 北見工業大学 教授 有田 敏彦 氏
「ワインの開発研究」 (公財)オホーツク財団 研究課長 武内 純子 氏
「ノーステック財団による新商品開発支援事業の紹介」

ノーステック財団 地域連携支援部



(2) 起業家育成支援セミナーの開催

創業を目指す市内の大学生及び第二の創業を目指す企業などを対象としたセミナーを「キャリアデザイン」との連携により実施。

開催方法：YouTube 限定公開によるオンデマンド形式

配信期間：令和2年9月14日（月）～30日（水）

講師：株式会社 Will-E 代表取締役 根本 英希 氏



2. オホーツク産学官融合センター・中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィスとの連携等

オホーツク産学官融合センター及び中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィスとの連携により、地元中小企業の取り組みをフォローアップした。

(1) 定期的な情報交換

北見工業大学、(一社)北見工業技術センター運営協会、(公財)オホーツク財団、北見商工会議所、北海道中小企業総合支援センター オホーツク支部、中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィス、オホーツク産学官融合センター、北見市による事業化案件の掘り起こしや支援方針に係る定期的な情報交換の実施。

(2) 市内の中小企業と大学・公設試験研究機関との共同研究の推進 4件

- ・畳家具による新しい生活スタイルの提案 ((一社) 北見工業技術センター運営協会)
- ・水質改善材の科学的データの取得及び分析 (北見工業大学)
- ・ローズマリーを使った加工品の開発 ((公財) オホーツク財団)
- ・廃菌床を原料とした蒸煮腐植による SDGs 対応型土壌改良素材の開発
(公財) オホーツク財団)

3. 産学官連携による地元企業への支援体制の検討

北見市をはじめオホーツク圏域が抱える課題・問題点を整理し、継続した取り組みの中で地元企業への支援体制のあり方を協議した。

(1) オホーツク産学官融合センター事務局会議

開催日：毎月第1月曜日

場 所：北見工業大学社会連携推進センター

参集者：北見工業大学、(一社)北見工業技術センター運営協会、(公財)オホーツク財団、北見商工会議所、北見市、北海道中小企業総合支援センター オホーツク支部、中小企業基盤整備機構北海道本部北見オフィス、オホーツク産学官融合センター

(2) 北見工業大学社会連携推進センター産学官連携推進員・協力員合同会議

開催日：令和2年10月9日(金)

開催方法：メールによる書面会議

(3) その他

当協議会のホームページ (<https://srsk.rdy.jp>) にて、産学官の連携により開催されるフォーラム・セミナー等イベントの情報発信を行った。

4. 会員団体等が取り組む産学官連携推進事業への協力

会員その他の関係団体等が産学官連携により実施する各種事業について、その事業内容や趣旨に応じ、共催、後援などの協力を行った。

(1) 素材を宝石に 付加価値をつける方法〔開催協力〕

開催日：令和3年2月17日(水)

場 所：ホテル黒部

主 催：北見市技能普及実行委員会

内 容：講演

5. 共同研究の推進・関連研究団体等への支援

調査研究の他、調査研究を行う団体等と連携を図るなどの相互協力により、更なる産学官連携の促進を図る。

(共同研究)

テーマ：1) 「農観連携による地域特産品の販路開拓に関する調査・研究
～北見産「白花豆」を中心として～」

研究者：東京農業大学 生物産業学部 自然資源経営学科
小川 繁幸 准教授

テーマ：2) 「高濃度人工炭酸泉浴が筋疲労回復を促進させる可能性の検討」

研究者：日本赤十字北海道看護大学 健康科学領域
山本 憲志 教授

テーマ：3) 「北見市におけるバスロケーションシステムの導入実証実験」

研究者：北見工業大学 情報処理センター
升井 洋志 センター長